

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|--------------|---|---|--------|-----|--------|---|------|------|-----------|---|----|----|-----------|---|----|----|------------------|---|----|----|
| 盛岡ペットワールド専門学校 | 平成16年9月21日 | 工藤 昌雄 | 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 (電話) 019-604-1151 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人龍澤学園 | 昭和38年3月14日 | 龍澤 正美 | 〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4番1号 (電話) 019-622-6357 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | ドッグトレーナー科 | 平成26年文部大臣告示第7号 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | 伴侶動物として家庭で飼育されるペットが増え、愛犬のトレーニングに注目が集まる。動物病院でのしつけ教室・犬の幼稚園等が増える近年、ペットトレーナー(インストラクター)として必要な犬のコントロール・管理法・トレーニング法などが必要とされているこのような状況を踏まえ、本学科はトレーニング系事業所を想定した実習・演習を行うことで、人間性・社会性を兼ね備えた能力のある即戦力となる人材の育成をする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成26年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 昼夜 | 1820時間 | 380時間 | 0時間 | 1440時間 | 0時間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 昼間 | 単位時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40人 | 26人 | 0人 | 5人 | 3人 | 8人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記試験、または実技試験によるA・B・C・Dの4段階評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始め:4月1日 ■夏季:7月27日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月15日 ■学年末:3月19日～4月7日 | | 卒業・進級条件 | 出席日数が年間必要な日数の9割以上であること。 専門科目においてC以上であること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談・保護者面談 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 動物系ボランティア・地域清掃 ■サークル活動: 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ペットショップ・動物病院 ■就職指導内容 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導 ■卒業者数 6人 ■就職希望者数 6人 ■就職者数 6人 ■就職率 : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 100% ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>損害保険募集人資格</td> <td>②</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士</td> <td>②</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>トレーナーライセンス(学校認定)</td> <td>②</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 | | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | 損害保険募集人資格 | ② | 6人 | 4人 | 愛玩動物飼養管理士 | ② | 6人 | 5人 | トレーナーライセンス(学校認定) | ② | 6人 | 6人 |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損害保険募集人資格 | ② | 6人 | 4人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛玩動物飼養管理士 | ② | 6人 | 5人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレーナーライセンス(学校認定) | ② | 6人 | 6人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 0名 平成28年4月1日時点において、在学者17名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者17名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 月単位を計上し、出席率95%以下～個別面談、出席率90%以下～保護者面談 等 | | ■中退率 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 《給付型奨学金制度》 次に挙げる応募資格のいずれかに該当する入学希望者に対して選考試験(書類審査、面接、小論文)を実施し、認定ランクに応じて授業料の全額または一部を入学年度に給付する 【応募資格】 ①生活保護世帯 ②市町村民税所得割非課税世帯または所得税非課税世帯 ③保護者等の倒産・失職(自己都合を除く)等で家計が急変したことにより、現在の世帯年収が300万円を下回っている世帯 ※家計急変事由の発生から12か月以内である場合に応募可能 【認定ランクと給付額】 A:46万円 B:23万円 C:10万円 《特待生制度》 学業成績ならびに人間性に優れ、他の学生の模範となりうる方を特待生に認定し、認定ランクに応じて入学金の全額・半額・一部を入学年度に免除する 【応募資格】 ・高等学校での評定平均が3.8以上 ・愛玩動物飼養管理士準2級以上取得者 ・高等学校において皆勤の者 等 【認定ランクと免除額】 A:入学金10万円 B:入学金5万円 C:入学金2万円 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 実績なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | http://wanco.ac.jp/submap/trainer.html | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

| | | | |
|--|---|---|--------------------------|
| 1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係 | | | |
| (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 | | | |
| 教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またトレーニング実務において新たに必要となるインストラクション技術・飼育法等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。 | | | |
| (2)教育課程編成委員会等の位置付け | | | |
| 教育課程の編成においては教育課程編成委員会からの意見・アドバイスを十分に活かしつつ、あくまで本校教員が主体となつて実践的かつ専門的な職業教育を行なうものである。 | | | |
| (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 | | | |
| 平成29年7月31日現在 | | | |
| | 名前 | 所属 | 任期 |
| | 工藤 昌雄 | 盛岡ペットワールド専門学校 校長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 高田 孝一 | 盛岡ペットワールド専門学校 副校長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 三上 祐太 | 盛岡ペットワールド専門学校 教務部 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 多田 洋悦 | 一般社団法人 岩手県獣医師会 会長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 保木 千春 | 有限会社HAL DOG GARDEN青森 代表 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 菊地 美咲 | 盛岡ペットワールド専門学校 教務部 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 天瀬 恵美子 | 盛岡ペットワールド専門学校 教務部 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | 白川 優佳 | 盛岡ペットワールド専門学校 事務局 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) |
| | | | 種別 |
| | | | 本校職員 |
| | | | 本校職員 |
| | | | 本校職員 |
| | | | ① |
| | | | ③ |
| | | | 本校職員 |
| | | | 本校職員 |
| | | | 本校職員 |
| ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員 | | | |
| (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 | | | |
| (開催日時) 第1回 平成29年8月9日 15:00～16:00 第2回 平成29年12月 | | | |
| (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 | | | |
| ドッグトレーナーとして動物のしつけに関するプロとして働くうえで、現状および今後必要となるスキルに関するアドバイスをいただき、「しつけトレーニング学Ⅰ」、「しつけトレーニング学Ⅱ」の授業においてしつけなどの実践スキルを高められるよう授業の内容に反映させ、ドッグトレーナーとして職務を全うするために今後必要となる内容まで含めて指導を行う。また、飼い主様とのやり取りの中で動物に関する技術のみならず、人間力・対応力の向上も必要となるため、接客能力・事務能力に関してアドバイスいただき、「インターンシップ実習Ⅰ」、「インターンシップ実習Ⅱ」、「ペットビジネス教養Ⅰ」、「ペットビジネス教養Ⅱ」の授業内容に反映させている。 | | | |
| 2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係 | | | |
| (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 | | | |
| より専門性の高いトレーナー(インストラクター)を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように活かせるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をすることの喜びややりがいを学ぶことを目的(基本方針)とする。 | | | |
| (2)実習・演習等における企業等との連携内容 | | | |
| 動物分野における実践的な職業教育として動物関連企業や動物病院と契約を締結し、実践的な技術の習得やペットライフの質の向上による地域活性化を目的として連携している。企業および病院より直接的に学生に対して指導いただくとともにアンケートを実施し学修成果の評価について連携を行っている。 | | | |
| (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 | | | |
| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 | |
| インターンシップ実習Ⅰ | 現場に必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をすることの喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外(おもに東北地区)の動物関連事業所において、実習を行う。 | ラバーズドッグ、ドッグカフェハッピーわん、ふくろうカフェRicky、アリーナドッグスクール&カフェ、ペットプラスを含む9事業所 | |
| インターンシップ実習Ⅱ | 1年次終了実習での課題や反省を活かし、2年次実習では自ら気づき、考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積み重ねることで即戦力となる人材を育成する。 | ラバーズドッグ、ドッグカフェハッピーわん、ふくろうカフェRicky、アリーナドッグスクール&カフェ、ペットプラスを含む9事業所 | |
| ペットビジネス教養Ⅰ | 地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。 | 株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団 | |
| ペットビジネス教養Ⅱ | 地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。ペットビジネス教養Ⅰで行ったイベント企画経験を活用し、よりお客様に満足していただける企画とサービスを提供する。同じ思いを持った仲間とひとつのことを作り上げることでチームワークを磨くと同時に、犬をコントロールする一線に楽しむことを飼い主さんに伝える技術も習得する。 | 株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団 | |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。
 ここでいう研修等には、事業所等から講師を招いて学内で行う研修や学外で事業所等が主催して行われる研修等への参加だけでなく、自己啓発活動への援助も含む。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 岩手県環境生活部による「岩手県動物愛護推進ボランティア研修会」(2016/6/3)
 動物の適正な取り扱いの普及や動物愛護の意識を高める為のボランティア活動に関する研修会に参加することで適正飼育・飼養の理解、しつけに関する技術向上を目的とする。
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 いわぎん事業創造キャピタル株式会社による「起業家講演」(2017/1/21)
 地域活性化及び起業家育成に関する講演会に参加することで地域振興活性化に関する理解・認識を持つことを目的とする。

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 一般社団法人ジャパンケルクラブによる「FCIジャパンインターナショナルドッグショー」(2017/4/1・2)
 犬種標準、繁殖指針として優良な犬を保存していくための理解を深めることでしつけインストラクターとしての動物に対する対応力向上を目的とする。
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 MCL専門学校グループによる「MCL専門学校グループ職員研修」(2017/9/29)
 次世代リーダー育成のためのブラッシュアップセミナー参加により、現場におけるリーダーに必要となる資質・素養および地域振興活性的の重要性を理解することを目的とする。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 学校関係者として事業所等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置。各委員の実務に関する知見を活かした視点で、教育目標や教育環境等についての「自己点検・評価」結果に基づく評価を実施し、その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映したうえで、学校運営会や職員会において検討する。これを定期的に行うことにより、「地域で必要とされる人材の育成」のための教育の質の向上、学生支援、卒業支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|-------------------------|
| (1) 教育理念・目標 | 1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標 |
| (2) 学校運営 | 7. 管理運営(各校)、8. 管理運営(法人) |
| (3) 教育活動 | 2. 教育の内容 |
| (4) 学修成果 | 4. 教育目標の達成度と教育効果 |
| (5) 学生支援 | 5. 学生支援 |
| (6) 教育環境 | 3. 教育の実施体制 |
| (7) 学生の受入れ募集 | 5. 学生支援 |
| (8) 財務 | 8. 管理運営(法人) |
| (9) 法令等の遵守 | 8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 6. 社会的活動 |
| (11) 国際交流 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 学校関係者評価委員会の意見については、次年度の教育活動その他の学校運営の改善等に活用することで具体的な検討を始めている。特に、卒業生支援について充実させること、教員の研修の機会をこれまで以上に増やしていくことについては早期に実現できるよう、職員会において在校生ならびに卒業生対象の講演会や教員の研修に関するスケジュールや予算繰り等の検討を始めている。また、避難訓練についても、より実際に近い「動物の同行避難」を実施する体制を確立するために必要な事項を整理し、マニュアル化を進めている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月31日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|-------------------|--------------------------|-------|
| 佐藤 れえ子 | 岩手大学農学部動物病院 病院長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 村上 肅 | 株式会社 マルカンペット 代表 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 佐藤 文嗣 | 盛岡ペットワールド専門学校 卒業生 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 卒業生 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質の保証・向上のためにも、関係事業所等から本校の教育活動への理解、協力を得られるよう、教育活動その他の学校運営の状況等について、ホームページや学校案内等で広く情報を提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|-------------------|--------------------------------|
| (1)学校の概要、目標及び計画 | 募集要項「盛岡ベトナム専門学校概要」 |
| (2)各学科等の教育 | 学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」 |
| (3)教職員 | 学校案内「職員紹介」 |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 学校案内「実践授業紹介」「就職サポートシステム」 |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | 学校案内「校外活動」「学科紹介」 |
| (6)学生の生活支援 | 募集要項「指定寮について」 |
| (7)学生納付金・修学支援 | 募集要項「学費サポート」 |
| (8)学校の財務 | グループホームページ「MCL専門学校グループとは 財務情報」 |
| (9)学校評価 | 学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」 |
| (10)国際連携の状況 | |
| (11)その他 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

URL: <http://www.mclnet.jp/>

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 ドッグトレーナー科) 平成29年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------|------|-------------|---|---------------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 動物飼養管理総論Ⅰ | 動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また愛玩動物飼養管理士の資格取得のため、講義・問題演習等を行う。 | 1通 | 200 | | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 動物看護学Ⅰ | 実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気を座学を通して学ぶ。 | 1通 | 50 | | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | グルーミング学Ⅰ | 犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。シャンプーの手順を理論から学び、簡単なお手入れケアができる技術を学ぶ。 | 1通 | 150 | | △ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | しつけトレーニング学Ⅰ | 座学を通して犬の行動や学習理論等を学び、それを踏まえ実践実習で犬のコントロール・管理法・トレーニング法を習得する。また、飼い主さんへの説明力と様々な犬や人に対応する柔軟性を身に付ける。 | 1通 | 250 | | △ | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | インターンシップ実習Ⅰ | 学校での教養授業を生かし、動物関連企業と連携してインターンシップ実習を行う。現場における事業主とのやり取り・指示の受け方、また飼い主さんとの対応を学び、現場で必要な社会人基礎能力を習得する。 | 1集中 | 60 | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | 動物飼養管理総論Ⅱ | 動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また1年生への飼育指導を通して、後輩への指導力を育成する。 | 2通 | 40 | | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 動物看護学Ⅱ | 実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気を座学を通して学ぶ | 2通 | 90 | | ○ | | △ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | グルーミング学Ⅱ | 犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。グルーミング学Ⅰの応用として、少ない人数で1頭のシャンプー実習を行える技術を取得する。 | 2通 | 70 | | △ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | しつけトレーニング学Ⅱ | しつけトレーニング学Ⅰを応用し、1頭の犬をトレーニングし犬をしつける技術を習得する。また、犬の問題行動に対する知識を学び、飼い主さんと犬に合わせた対処の仕方を提案する技術を習得する。 | 2通 | 210 | | △ | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | インターンシップ実習Ⅱ | 企業と連携してインターンシップ実習を行う。1年次からの応用として、自ら気づき・考え動くことを目標とし、現場で起こりうる危機管理も学ぶ。 | 2集中 | 150 | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | ペットビジネス教養Ⅰ | 地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。物事を作り上げる難しさや人と関わる喜びを学ぶ。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。 | 1通 | 250 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | | | ペットビジネス教養Ⅱ | 地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。 | 2通 | 300 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 合計 | | | | 12科目 | 単位時間(1820時間) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|-----------------------|--|----------|-----|
| 学科試験(筆記・レポート・実技)・実習評価 | | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | | 1学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。